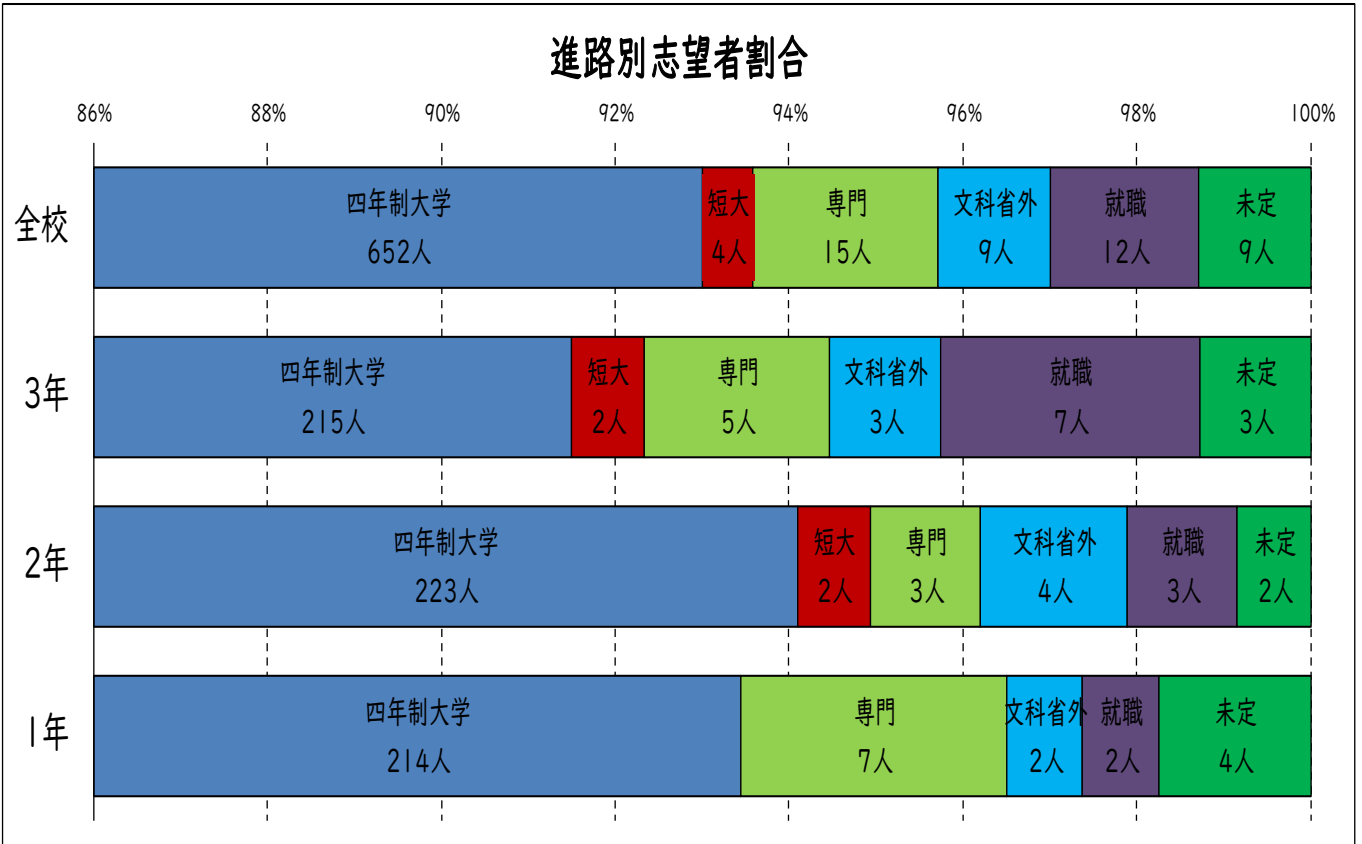
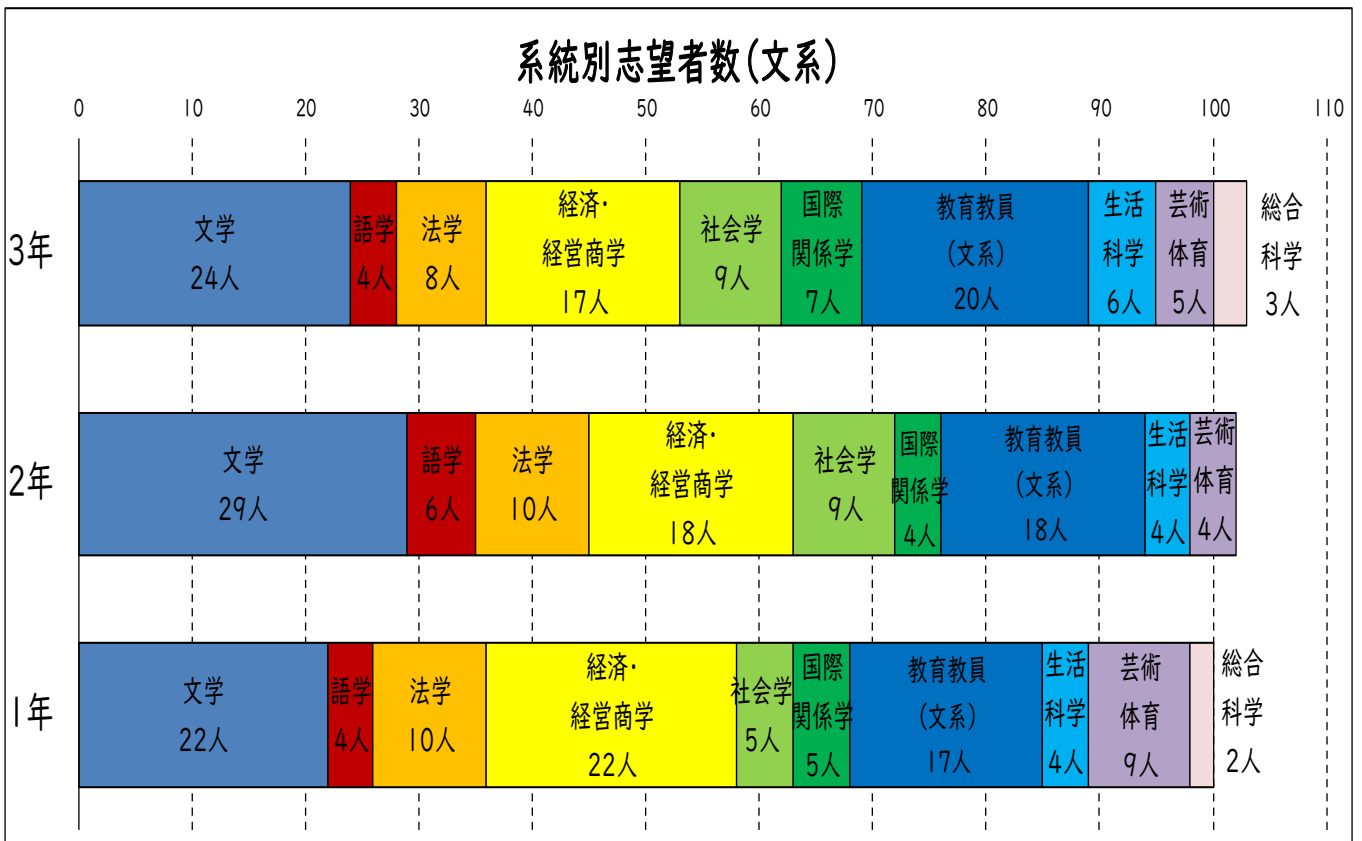


第2回進路希望調査の結果です (令和2年9月11日実施)

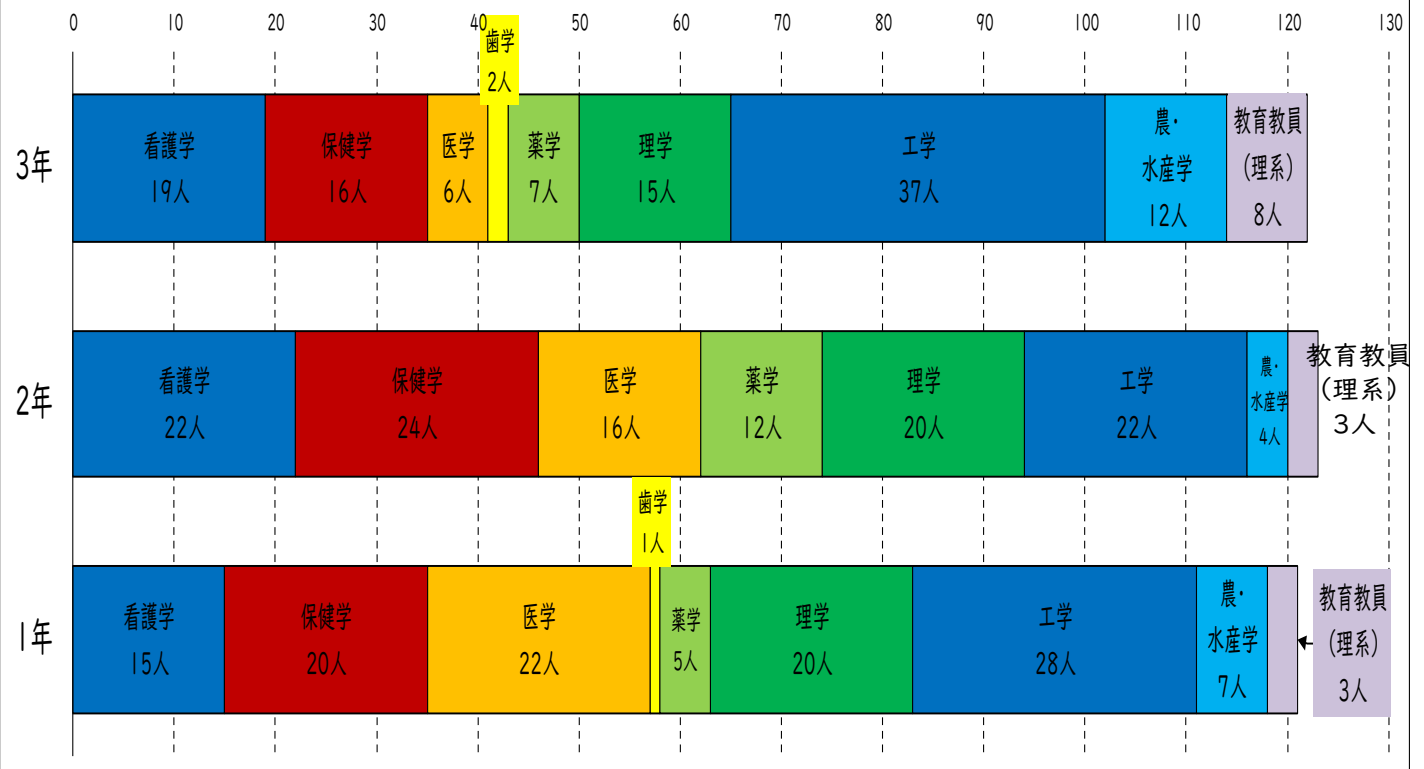
進路別志望者割合



系統別志望者数(文系)



系統別志望者数(理系)



ドクタートーク



10月4日(日)本校において、十和田市立中央病院に勤務する外崎奏汰医師による「ドクタートーク」(青森県・青森県教育委員会主催)と題した講演会が本校を会場として開催されました。本校からは29名の生徒が参加し、仕事に関することや学生時代のことなどを直接伺うことができました。生徒たちは積極的に質問をし、外崎医師の話を熱心にメモするなどして、医師への関心を高めていました。

生徒の感想

- ・ 医師という職業がとても幅のあるものだということを改めて実感した。私は青森県に貢献し、人の役に立ちたいと思って医師を目指しているが、今は「コミュニケーション能力を高める」というような、求められる色々なことに対応することが大切だと思ったので、今できることを精一杯頑張っていきたい。
- ・ 収入や働き方などの現実を知ることができてよかった。
- ・ 医師は死に向き合う仕事だということを改めて知ることができた。
- ・ 「『腕は良いがぶっくらぼうな医師』と『腕は悪いけど親身な医師』のどちらがよいか」という外崎先生からの質問があり、自分が目指す医師像を考えていく上で決めたいと思った。

新書を読みましょう

★知見を広げるプチ情報★

「新書」と一般的に呼ばれている本を知っていますか。文庫本よりも縦長の形態で、文系理系を問わず知識を得ることができ、筆者の見解を知ることができる書籍です。自分の関心のある分野や志望する学部・学科に関連する分野の新書を読んでみることをおすすめします。小論文を書くにしても面接においても、知識がなければ対応できません。そしてその知識を土台として自分の意見を持つことが必要であり、さらにその意見を論理立てて相手に伝えるように説明できることが重要です。多くの大学が入試において小論文や面接、集団討論などを重視しているということもありますが、自分の知見を広げるためにも様々な新書に挑戦してみることはいかがでしょうか。